

会 議 録

1 会議名

平成 28 年度第 9 回高士区地域協議会

2 議 題（公開・非公開の別）

・協議事項

1 地域活動支援事業に係る平成 29 年度の高士区の採択方針等について（公開）

2 自主的審議について【高士の未来づくり懇談会のまとめ】（公開）

・その他（公開）

3 開催日時

平成 29 年 2 月 14 日（火）午後 6 時 30 分から午後 8 時 15 分まで

4 開催場所

高士地区公民館 2 階 中会議室

5 傍聴人の数

1 人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委 員：青木正紘（副会長）、飯野憲静（会長）、飯野正美、小林トシ子、建入一夫、
中嶋真一、樋口義昭、日向こずえ、細谷八重子、横川英男（欠席 2 人）

・事務局：中部まちづくりセンター：山田センター長、野口係長、小林主事

8 発言の内容（要旨）

【小林主事】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【飯野会長】

・挨拶

【小林主事】

・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条 1 項の規定により、会長が議長を務め

ることを報告

【飯野会長】

- ・会議録の確認者：細谷委員

先月 27 日に行った「高士の未来づくり懇談会」では、約 30 名の地域の皆さんからご参加いただき、私たち委員を含めると 40 名程の高士区の住民が集まり、様々な世代の方と地域のことについて話し合う機会をつくることができました。委員の皆さんからは、地域の方への声かけや当日の進行等にご協力いただき感謝している。

本日の会議では、「高士の未来づくり懇談会」の振り返りや今後の方針について話し合いたいと思うが、地域活動支援事業についても、来年度の募集に向けて準備を進める時期がきている。そこで、本日は午後 7 時 15 分を目途に地域活動支援事業について協議し、その後で「高士の未来づくり懇談会」について協議したい。

それでは協議事項の 1 つ目、「地域活動支援事業に係る平成 29 年度の高士区の採択方針等」について、事務局に説明を求める。

【小林主事】

- ・資料No.1、資料No.2 により説明

【飯野会長】

事務局から説明があったとおり、資料 No, 2 「平成 29 年度地域活動支援事業に係る採択方針等の検討について」に基づき、項目ごとに来年度の高士区の方針等を協議していく。協議のポイントとしては、「平成 28 年度と同様」とするか「変更」するかだ。まずは、項目の 1 つ目「採択方針」、つまり募集するテーマについて協議する。私としては、高士区では今までもこのテーマに沿って提案を募集し、様々な団体から継続して提案していただいているため、ここで大きく変更する必要はないと考えている。この件について皆さんのご意見を伺う。

【横川委員】

会長が言われるように、高士区ではこれまでも様々な団体の方がこのテーマに沿って提案している。ここで大きく変更すると提案団体の方が迷ってしまう部分もあると思うので、平成 28 年度と同様としてよいと思う。

【飯野会長】

横川委員が言われたように、「募集するテーマ」については「平成 28 年度と同様」としてよいか。

－ 「よし」の声多数 －

それでは、「募集するテーマ」は「平成 28 年度と同様」とする。次に「補助率」についてはどうか。

【横川委員】

補助率については「10 分の 10 以内」として、私たちが審査する中で「満額」なのか「減額」するかを決めていけばよいと思う。

【飯野会長】

他の皆さんはそれでよいか。

－ 「よし」の声多数 －

それでは、「補助率」についても「平成 28 年度と同様」とする。次に、「補助金の限度額」について協議する。今年度は「上限なし」、「下限 1 万円」としたが、これについてはどうか。

【横川委員】

こちらも今年度と同様でよいと思う。

【飯野会長】

他の皆さんも「平成 28 年度と同様」としてよいか。

－ 「よし」の声多数 －

こちらも「平成 28 年度と同様」とする。

次に「ヒアリングの実施」について協議する。今年度は地域協議会委員の改選があったため、提案のあった全ての事業についてヒアリングを行った。昨年度までは、原則として全ての事業についてヒアリングを実施したが、継続事業で事業内容が前回と同様の場合はヒアリングを省略していた。このような経緯もあるが、来年度はどのようにするか意見を求める。

【建入委員】

提案された団体の思いや、書類だけでは不明な点を聞いた上で審査に臨みたいので、来年度も全ての提案についてヒアリングを行ってはどうか。

【青木副会長】

私は、継続事業で内容が前回と変わらない場合は、ヒアリングを省略してもよいと思う。例えば「ふるさと高士まつり」や「体育大会」は高士区の恒例行事であり、地域協議会委員も十分に内容を理解していると思う。

【中嶋委員】

今年度は、補助希望額の合計が高土区の配分額を 100 万円以上オーバーしていたので、全ての事業についてヒアリングを実施して良かったと思う。例えば、配分額を超えた場合は全ての事業についてヒアリングを行い、配分額を超えなかった場合は継続事業のヒアリングを省略してはどうか。

【横川委員】

中嶋委員の考えに賛成する。配分額を超えている場合は、全ての提案について「削れる部分はあるか」などを聞く必要があるためヒアリングが必要だが、配分額に収まっている場合は、継続事業についてヒアリングを省略しても審査には影響ないと思う。

【建入委員】

横川委員が言われる「継続事業」とは、事業内容も補助希望額も前回と同じということか。

【横川委員】

そうである。ただ、地域活動支援事業の目的を考えると、継続事業を提案する場合は、前年度の反省を踏まえて工夫があった方がよいと思う。

【建入委員】

確かに、継続事業の場合は前年とは違う部分があった方がよいと思う。しかし、高土区の場合は、地区の恒例行事が多く、伝統として受け継いでいる部分もあるので、毎年内容を変えるのが難しい場合もある。そうになると、全ての事業についてヒアリングを行い、熱意などを聞きたい。

【飯野会長】

今年度のように補助希望額が高土区の配分額を大幅に超えた場合は、ヒアリングの際に「削れる部分はあるか」を確認したい。また、配分額に収まっている場合であってもヒアリングを実施することで、こちらからのお願いを伝えることもできる。

よって、ヒアリングについては、「平成 28 年度と同様」に全ての提案について実施したいと思うがどうか。

－ 「よし」の声多数 －

次に「共通審査基準の配点」については意見を求める。

【中嶋委員】

今年度、審査して気が付いたが、「配点」の前に「共通審査基準」に基づく審査がと

ても分かり難かった。もう少し分かりやすい方法に変えることはできないか。例えば、委員1人の持ち点を100点として、提案のあった全ての事業に対して、委員それぞれが100点を割り振る。最後にそれぞれが割り振った点数を事業ごとに合算して、獲得した点数が高い事業から順位付けする方法はどうか。

【飯野会長】

確かに、中嶋委員の考えた方法は分かりやすく良いと思う。しかし、この「共通審査基準」に基づく審査は高士区だけでなく、全区で共通の審査方法であるため、これ自体を変えることは難しいと思う。共通審査基準の配点を各項目5点満点のところを2倍にするなど、変更することはできる。

【中嶋委員】

承知した。

【飯野会長】

それでは、配点についてどうするかを決めていく。高士区では、これまで「公益性」と「参加性」を2倍しているが、来年度はどうするか。

【山田センター長】

高士区ではこれまで、「公益性」と「参加性」が加算されている。これは、高士区ではここを重点視しようということで、初期の委員が決めた。高士らしさである。そこを見直すということになれば、他の項目を加算するなどにより各区の独自性に基づく審査になると思う。

【飯野会長】

高士区ではこの制度が始まった当初は、地域行事に参加する人が限られていた。そこで、「多くの住民から参加してもらえそうな事業」を高く評価し、優先して採択したいという思いで、「参加性」を2倍にした経緯があると聞いている。「公益性」についても、「高士区の全域が対象となる事業が増えてほしい」という思いがあり、点数を2倍にした。

皆さんが協議する際の参考に、正副会長の考えを先に発表させてほしい。まず、「公益性」は引き続き2倍に加算して10点、「必要性」は5点から2倍に加算して10点に変更。「実現性」は5点、「参加性」は10点から5点に変更。「発展性」は5点で合計35点という案を考えた。これは、「参加性」については、地域活動支援事業が浸透してきたことで各行事への参加者が増えているため、加算なしとしたい。また、「必要性」

については、高士区のこれからを考えて、地域の課題を解決するために必要な事業を提案していただきたいという思いで点数を2倍したい。以上が正副会長の考えである。この案を参考に協議をお願いします。

【建入委員】

地域活動支援事業を活用するのであれば、一部の人や地域が参加するものではなく、地域全体が参加するような事業を提案してほしいので、「参加性」は今までどおり2倍の加算を付けた方がよいと思う。

【飯野会長】

補足するが、合計35点にこだわるわけではないので、今までどおり「参加性」を10点にしたままで、「必要性」も10点にしてもよいと思う。

【日向委員】

正副会長から提案のあったとおり「必要性」を2倍にするのはよいと思うが、「参加性」はこのまま10点にして、合計40点満点としてはどうか。

【横川委員】

募集するテーマを変えていないので、共通審査基準の配点もこれまでどおりとしておいた方がよいのではないかと。

新しい委員さんは2回目の審査になるので、来年度は今年度どおりでやってみて、3年目で変えたらよいのではないかと。

【飯野会長】

横川委員から提案があったとおり「平成28年度と同様」としてよいか。

— 「よし」の声多数 —

次に「募集期間」だが、今年度は4月1日（金）から5月2日（月）までの1か月程度としたが、平成27年度までは2週間程度としていた。来年度はどうか検討してほしい。

【建入委員】

各団体からの提案は、募集期間が始まってすぐに提出があるのか、それともギリギリになってからの方が多いかを教えてほしい。

【小林主事】

募集期間が始まってすぐに提出に来られる団体もいるが、修正や不足書類があれば再提出となる。私の感覚では、募集期間の締め切り近くになってから提出される団体

が多いと思う。

【建入委員】

それであれば、募集期間は長めに確保した方がよいので、今年度と同様に 1 か月程度でどうか。

【飯野会長】

2 週間とした方が、採択が早い時期にできるというメリットがある。しかし、各団体の役員改選が 3 月下旬から 4 月上旬に集中していることを考慮すると、募集期間が 2 週間では新しく役員になった方が大変だ。建入委員から提案があったとおり、1 か月程度として、具体的には 4 月 3 日（月）から 5 月 2 日（火）まででどうか。

－ 「よし」の声多数 －

最後に「その他」について協議する。この「その他」では、具体的に何を決めればよいか、事務局に説明を求める。

【小林主事】

ここでは、「高土区として補助対象外とする事業はないか」を検討してほしい。これについては、高土区ではこれまで特に定めていなかったが、他の区では「町内会館の修繕は対象外」と定めている区や、「防犯灯の LED 化は対象外」としている区もある。もちろん、上越市全体で対象外と定めている事業を高土区だけ対象とすることはできないので、ご承知おきいただきたい。

【飯野会長】

今まではより多くの事業を提案してもらうため、特に対象外とする事業を定めることはしていない。もし、高土区の採択方針に適さない提案があった場合はその都度、地域協議会で精査してきたが、これまでどおりとしてよいか。

【横川委員】

会長が言われるように、最初から条件を決めないで広く募集し、出てきた提案を私たちが精査する方法でよいと思う。

【飯野会長】

それでは、「その他」については特に規定を設けないこととしてよいか。

－ 「よし」の声多数 －

資料 No, 2「平成 29 年度地域活動支援事業に係る採択方針等の検討について」は、全ての項目が決定した。

次に協議事項の2つ目、「自主的審議」に入る。ここでは、「高士の未来づくり懇談会」の振り返りを行うが、その方法について事務局に説明を求める。

【小林主事】

- ・資料 No, 5 に基づき説明

【飯野会長】

事務局から説明があったとおり、各グループに分かれて、懇談会で話し合った内容のまとめと、今後の方向性について話し合ってください。今から午後7時50分を目途に話し合いを進めてほしい。時間になったら、全体発表の時間を設けるので、どなたが発表するかも決めてほしい。

— 3グループに分かれて話し合い（午後7時20分から午後7時50分まで） —

【飯野会長】

それでは、会議を再開する。各グループで話し合った内容を資料 No, 5 の項目に沿って発表していただきたい。

— 各グループの発表内容は下記のとおり —

【第1グループ】

テーマ①（将来こんな地域になってほしい）

- ・子どもが安心して遊べる地域になってほしい
- ・家から見える妙高山、^{きたかた}北方や^{みなみがた}南方から見える夜景が素晴らしいので、もっと多くの人に知ってもらいたい
- ・自然に恵まれ、安心して暮らせる場所だと思う
- ・高士小学校の生徒が取り組む「善兵衛学習」が素晴らしい

テーマ②（地域でこんなことをやってみたい）

- ・「地域の自慢スポット」を探して紹介したい
- ・飯田川堤防の桜並木が素晴らしいので、観桜会を開催したい
- ・空き家をシェアハウスとして活用できないか検討したい（保育園や小学校が近接しており生活しやすいメリットを生かすことで、ターゲットをシングルマザーに絞りシェアハウスを低価格で提供するなど、対象者を限定することで人が集まるのではないか）
- ・ワインや地酒を活用した地域活性化策を検討したい

テーマ③（課題や不安）

- ・高士の知名度が低い
- ・地元企業にもっと協力してほしい

テーマ④（懇談会の結果を踏まえた今後の方向性など）

- ・人口減少が大きなキーワードになる
- ・出てきた課題や未来像を絞り込み、自主的審議のテーマを決める

【第2グループ】

テーマ①（将来こんな地域になってほしい）

- ・団結力と実践力がある
- ・自主的に発足した「地域を支える団体」が多い（ひとふさの会、婦人会など）
- ・自然に恵まれている
- ・地域の中に絶景ポイントが多くある
- ・体育大会をはじめ、地域全体で取り組む行事が素晴らしい
- ・住民主体の組織がしっかりしている
- ・住民同士のコミュニケーションがとりやすい地域

テーマ②（地域でこんなことをやってみたい）

- ・スポーツを通して地域を盛り上げたい
- ・旧高士中学校跡地（高士スポーツ広場）が公の施設として廃止になる前に「記念事業」を実施したい
- ・高士区のホームページを作成したい

テーマ③（課題や不安）

- ・青年会がない
- ・人口減少が進み不安

テーマ④（懇談会の結果を踏まえた今後の方向性など）

- ・テーマを絞って、もう一度地域の皆さんと懇談会を実施する

【第3グループ】

テーマ①（将来こんな地域になってほしい）

- ・新しい取組を実践することで、高士区の良さを多くの人に知ってもらい、注目される地域にしたい

テーマ②（地域でこんなことをやってみたい）

- ・「高士の良い所マップ」を作成し、ホームページを立ち上げてPRしたい

- ・桜並木をもっと繋げて名所にし、人を集めたい
- ・自転車に特化した公園や自然を活用した迷路のある公園をつくるなど、特色あるもので外から人を呼びたい
- ・高士区内にランニングコースや散歩コースをつくり、マップにして発信したい

テーマ③（課題や不安）

- ・ビジョンが決まった時に、そこからどうやって実現していくかが分からない
- ・街灯の少ない場所があり夜間が怖い
- ・人口減少（特に少子化）が不安
- ・空き家の増加が不安

テーマ④（懇談会の結果を踏まえた今後の方向性など）

- ・継続して地域の皆さんと意見交換をしたい
- ・いつも同じメンバーではなく、もっと多くの住民から参加してもらい意見交換を実施する

【飯野会長】

各グループで様々な意見を出していただき感謝している。本日グループごとにまとめた内容は、次回の会議までに正副会長と事務局で見やすいように1枚にまとめたいと思う。そして、次回の会議では、まとめた資料を基に、今後の方針を協議したい。また、まとめた内容は「高士の未来づくり懇談会」に出席していただいた地域の皆さんへもフィードバックしたいと考えている。

次に、次第4「その他」に入る。「その他」の1つ目、来月に開催する「地域活動支援事業の事前説明会」について、事務局へ説明を求める。

【小林主事】

- ・資料No.4により説明
- ・当日の出欠を確認

【飯野会長】

事務局から説明があったとおり、説明会では地域活動支援事業に関する説明の他に、高士区地域協議会の活動報告も行う予定だ。その中でも特に「高士の未来づくり懇談会」をもっと地域へ浸透させていくために、事務局からの活動報告に合わせて委員からも感想などを発表していただきたい。時間の関係もあるので全員ではなく、2名の方から代表で発表していただきたい。「ぜひ私が話したい」という方がいれば、その方

にお願いしたいが、なかなか手が挙がらない場合は正副会長の推薦としたい。自薦他薦はないか。

— 「正副会長の推薦に賛成」の声多数 —

【飯野会長】

それでは、「高士の未来づくり懇談会」の感想等の発表者として、建入委員と日向委員の2名を推薦したいがどうか。

— 建入委員及び日向委員の意思確認 —

引き受けていただき感謝する。

それでは、「その他」の2つ目、次回の会議日程について決めたい。

— 日程調整 —

・ 次回の開催日時：3月14日（火）午後6時30分から

・ 会場：高士地区公民館 2階 中会議室

その他、事務局から連絡等はあるか。

【野口係長】

飯野会長から開会の挨拶の中でお話があった「市議会議員と地域協議会正副会長との懇談会」に関して、飯野会長からいただいた開催の趣旨が不明確だったというご指摘は、私たちセンターから議会事務局へ伝えたいと思う。

【飯野会長】

そうしていただけると助かる。懇談会を開催するのであれば、市議会議員が開催の趣旨や目的、実施方法をもっとよく理解した上で臨むべきだと感じた。

【野口係長】

今お話しいただいた内容も含めて伝えたいと思う。

【飯野会長】

・ 会議の閉会を宣言

【青木副会長】

・ 閉会の挨拶

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-5111（内線1449、1547）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。